

Shinjo

Shinjo chamber of commerce and industry



新庄商工会議所会報 第 320号

2025年 1 月20日発行〈季刊発行〉

新庄商工会議所のホームページには、皆様の経営を支援するお得な情報が盛りだくさん。ぜひアクセスしてください!!



2025. 1

- 年頭の辞 新庄商工会議所 会頭 柿崎 力治朗 … 2
- 年頭所感 日本商工会議所 会頭 小林 健 …… 4
- もがみ地域経済3団体新年賀詞交歓会を開催 …… 5
- 豪雨災害に関する緊急要望を実施 …… 6
- 2024年度 老舗会員企業顕彰式・優良従業員表彰式を挙行 …… 7
- DXセミナー・相談会を開催 …… 10

んだにゃんが行く!

～お正月特別表紙～

明けましておめでとうございます♪
今年も会員事業所皆様の商売繁盛を願ってますにゃん!
ことしもよろしくにゃん!



新庄商工会議所
マスコットキャラクター
んだにゃん





年頭の辞

新春を寿ぎ謹んでお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻を
お願い申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。



新庄商工会議所 会頭 柿崎 力治朗

新年明けましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれまして
は、健やかに新春をお迎えの
ことと存じます。

さて本年は巳年、その中で
も「乙巳（きのとみ）」とい
われる年です。「木」の要素
をもち、草木がしなやかに伸
びる様子や横へ広がっていく
意味があり、「再生や変化を
繰り返しながら柔軟に発展し
ていく年」です。ふり返れば
ちょうど60年前、昭和40年の
「乙巳」の年は、製造業の国
際競争が高まるとともにイン
フレも相まって、名目成長率
が毎年2桁で推移した好景気
「いざなぎ景気」が始まった
年でもあります。社会環境が
大きく変化した今、60年前と

同様にとはいかないものの、
本年が柔軟に発展していく年
となることを切に期待したい
ところであります。

● 昨年の豪雨災害を受けて

昨年7月の豪雨災害は、当
地域に甚大な被害をもたらし
ました。想定雨量をはるかに
超える降雨が続いたことで戸
沢村蔵岡地区では最上川の越
水氾濫が発生したことも実に
衝撃でした。国の激甚災害指
定を受けることが決定したも
の、災害発生から半年近く
経つ今もなお陸路、鉄路とも
に復旧に向けた工事が道半ば
です。新庄商工会議所では同
じく甚大な被害を受けた酒田
商工会議所とともに各近隣商
工会に呼びかけ、国土交通省
東北地方整備局、山形河川
国道事務所、新庄河川事務



10月9日には新庄河川事務所長へ
緊急要望を行いました

所、酒田河川国道事務所に対
し、緊急要望活動をおこない
ました。要望では、「被災地
の復旧及び復興に向けた財政
支援」をはじめ「河川整備計
画における計画降水量の見直
し」などについて理解を求め
ました。地域を越えて商工会
議所、商工会がひとつになっ
て要望活動をおこなうことは
全国的にも珍しく、地方で災
害が発生した際の今後のモデ
ルになると自負しているこ
ろです。

同時に今回の災害発生によ
って、長年要望をおこなって
いる石巻酒田間地域高規格道
路の早期実現についても改め
てその重要性を認識し、今後
も一刻も早い実現に向けて声
を上げて参ります。

● 超高齢化社会の中で地域経済 をどう活性化していくか

本年、いわゆる団塊の世
代が全員75歳以上となり、国
民の5人に1人が後期高齢
者となる超高齢化社会を迎
えます。これによって様々
な社会問題が発生していく
「2025年問題」もいよいよ
現実となり、課題解決に向
けて進んでいかねばならない
年でもあります。社会保障の
負担増、医療・介護体制整備、
後継者不足、人材不足など課
題が多岐にわたり、企業や社

本年もよろしく
お願いいたします

会頭 柿崎 力治朗
副会頭 阿部 浩行
副会頭 永井 敏子
専務理事 梁瀬 幹子
常議員 佐藤 久治

監事 安藤 隆幸
議員 中野 幸夫

柿崎 力治朗
阿部 浩行
永井 敏子
梁瀬 幹子
佐藤 久治
山科 忍
中山 新一郎
奥田 雄一
須田 光雄
甲野 明雄
小田 善夫
大場 彦夫
田中 英司
金藤 孝一
佐藤 敏英
庄司 正人
長沼 俊一
津藤 真知子
涌井 洋子
峯井 洋子
村井 芳紀
小野 幸夫
吉田 幸夫
庄司 幸夫
川野 幸夫
沼澤 幸夫
元木 幸夫
高橋 幸夫
佐藤 幸夫
安藤 幸夫
監事 安藤 隆幸
議員 中野 幸夫
阿部 浩行
永井 敏子
梁瀬 幹子
佐藤 久治
山科 忍
中山 新一郎
奥田 雄一
須田 光雄
甲野 明雄
小田 善夫
大場 彦夫
田中 英司
金藤 孝一
佐藤 敏英
庄司 正人
長沼 俊一
津藤 真知子
涌井 洋子
峯井 洋子
村井 芳紀
小野 幸夫
吉田 幸夫
庄司 幸夫
川野 幸夫
沼澤 幸夫
元木 幸夫
高橋 幸夫
佐藤 幸夫
安藤 幸夫

会活動にも大きく影響を及ぼします。特に地方は、少子化を伴う人口減少が加速の一端を辿っており、地方経済の先行きは益々不透明であるとかいような現状にあります。

そのような中で地域経済を活性化していくためには、直面する課題に相対し、官民が一体となって知恵を出し合い、さらにスピード感をもって、地域の明るい未来を展望でき得る事業を展開していく必要があります。

ご承知のとおり我々新庄商工会議所では、3年前に近隣のもがみ北部商工会、もがみ南部商工会とともに、地域課題の解決に向け「新庄もがみのランドマーク検討協議会」を発足しました。これまで高規格道路の延伸を好機と捉え、広域的な「道の駅」建設について議論を重ね、経済界の立場で声を上げて参りました。未だ行政の方向性が明確に示されないなかではあります。協議会では新たに地域連携DMO（観光地域づくり法人）の設立に向けた調査研究をスタートしております。

将来にわたって地域経済を活性化させていくためには、単独市町村の抱りを脱却し、新庄最上地域としてのスケールメリットを活かした域外需要の開拓を図るための体制整備、拠点づくりが急務です。実現に向けて両商工会の皆様とともに鋭意尽力して参ります。



12月6日シンポジウムにおける廣瀬氏の基調講演「道を活用した地域活性化」



シンポジウムでは当地域の可能性についてパネリストの方々にお話いただきました

●商工会議所が果たす役割

地方が抱える課題は山積しています。会員の皆様の経営課題も多様化、複雑化を増しています。人が減っていく時代において、持続可能な経営を維持していくには、これまで以上の経営努力とアイデアが必要となります。そのような中で、商工会議所が果たすべき役割は益々大きくなって参ります。まずは常に会員の皆様の声に耳を傾け、思いに寄り添い、国や県の施策や動きをいち早く捉えながら必要な情報をしっかりと届けることが責務であります。職員の資質向上に努めながら、経営のことであれば商工会議所に聞いてみようと思っただけで、どんな小さなことでも頼っていただけるような体制づくりを進め、地域総合経済団体としての責務をしっかりと果たしていきます。

●「対応力」をもつ

昨年は「変化」の一年。今年は、その大きな変化に対応していく力が求められる年でもあります。

2025年（令和7年）も新庄商工会議所は、一層の「対応力」をもって会員の皆様、そして地域の未来のために事業を展開していきます。役員議員、会員の皆様のより一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。皆様にとつて幸多き飛躍の一年になりますことを心からご祈念申し上げます。初春にあたり、挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



青年部会長
女性会会長

近藤 齊 佐々木 藤 有 伊 伊 大 柿 門 栗 鈴 高 近 土 早 青 野 伊 井 京 長 箱 星 井 村 近 佐 伊 甲 京 海 矢 柴 川 坂 深 伊 今 井 村 三 柿 布
新 伸 明 幸 一 千 晃 良 初 正 朋 由 裕 秀 憲 孝 孔 和 純 雅 和 淳 孝 裕 直 達 超 泰 佑 真
治 彰 弘 喜 豊 夫 恵 茂 一 純 一 世 稔 博 貴 文 紀 之 明 建 繁 雄 司 学 志 一 弘 徹 司 剛 彦 哉 一 郎 崇 志 也 郎 博 太 子
理 子

年頭所感

日本商工会議所会頭 小林 健

「新たな成長への飛躍の年に」



明けましておめでとうございます。
います。

2025年の新春を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不
透明かつ混乱の度合いが深ま
った1年でした。世界ではロ
シアによるウクライナ侵略の
長期化に加え、中東情勢の悪
化など、地政学的リスクが拡
大しました。また、経済面では
米国経済が堅調さを維持する
一方で、中国経済の停滞が
懸念される年になりました。
加えて、昨年は主要国で選挙
が相次ぎ、米国では4年ぶり
にトランプ氏が次期大統領に
就任する結果となり、保護主

義や自国第一主義の台頭に対
する懸念が再び高まっていま
す。

国内に目を転じますと、1
月の能登半島地震や9月の奥
能登豪雨といった痛ましい災
害に見舞われた1年でありま
した。また、秋の衆院選では
与党が30年ぶりに過半数を大
きく下回り、少数与党へ転じ
るなど政治的変動が生じる一
方で、経済では、歴史的円安
や物価高が続く中、設備投資
は好調で日経平均株価も史上
初の4万円台を記録しました。
日本銀行はマイナス金利の解
除に踏み切るなど、金融政策
にも大きな転換点が訪れまし
た。特に昨年は「賃上げ」を
テーマとした1年でもあり、
中小企業の賃上げ率も3%台
半ばに達するなど、物価と賃
金の好循環に向けた大きな一
歩を踏み出した1年であった
と総括できます。企業の自助
努力とともに、官民を挙げた
価格転嫁の取り組みが効果を

示した結果であります。賃
上げを行った中小企業の約6
割が収益改善を伴わない中で、
人手確保のための防衛的賃上
げを迫られたことも事実です。
賃上げのモメンタムをいかに
持続可能な形に転換するかが、
停滞から成長のステージに向
けた今年の大きな課題となり
ます。

●成長の両輪は中小企業の 強化と地方創生

日本は経済立国であり、経
済成長なくして将来はありま
せん。デフレ脱却を確実にし、
成長型経済への転換を進める
ためには、GDPの6割を占
める個人消費の拡大が不可欠
です。その実現は、全企業数

の99.7%、就業人口の約
7割、地方部では約9割を担
う中小企業・小規模事業者の
生産性向上と持続的な賃上げ
にかかっているといっても過
言ではありません。成長の両
輪の一つは中小企業であり、
そのデジタル化、省力化投資
を含めた設備投資、技術革新
的財産の活用・保護といっ
た生産性向上への不断の努力
と自己変革によって付加価値

を高め、賃上げ原資を生み出
す必要があります。われわれ
商工会議所は本年もこうした
前向きな挑戦を続ける中小企
業を全力で支援してまいりま
す。また、労務費を含む価格
転嫁対策のさらなる推進や
B to Cでは企業側の「値を上
げる勇気」も必要です。消費
者にも「良いサービス、良い
モノには値が付く」という認
識を持っていただき、国民全
体のデフレマインドを払拭す
ることも今年の大きなテーマ
でありますので、消費者意識
の改革とともに経済環境の改
善を目指していきたいと思っ
ます。

また、成長の両輪のもう一
つは「地方創生」です。地方
の発展なくして日本の再生は
ありません。政府、地方自治
体、民間が三位一体となり、
地域への人材・投資の呼び込
みや「稼ぐ産業」の育成、イ
ンフラ整備などを通じて地域
の経済循環を強化し、地域の
強みと潜在力、いわゆる「地
域力」を引き上げるべく全力
を傾ける年にしなくてはなり
ません。地域の経済インフラ
を担う中小企業および小規模

事業者の強化は、地方創生の
取り組みとも表裏一体です。
政府・地方自治体には両者を
成長の両輪と位置づけ、地域
ごとの特性を踏まえた成長戦
略の策定と実行を強く求めた
と思いますし、われわれ全
国515の商工会議所も地域
経済の再生・活性化の先導役
として、さらに活動を強化で
きる1年にしなくてはなりま
せん。

●大阪・関西万博の成功を 大きな成長の弾みに

本年4月には大阪・関西万
博が開幕いたします。停滞か
ら成長への転換点にあるタイ
ミングでの開催は、象徴的か
つ歓迎すべきことであります。
「いのち輝く未来社会のデザ
イン」をテーマとする20年ぶ
りの万博開催が、新たな未来
をつくる起爆剤となるよう、
全国の商工会議所一丸となつ
て盛り上げてまいりましょう。
わが国全体の未来に向けて成
長に弾みのつく万博となるこ
とを切に願い、皆さまの一層
のご支援とご協力を心からお
願い申し上げて年頭のご挨拶
とさせていただきます。

第2回 もがみ地域経済3団体 新年賀詞交歓会を開催

新庄商工会議所、もがみ北部商工会、もがみ南部商工会による経済3団体新年賀詞交歓会を1月10日（金）、ニューグランドホテルにて開催しました。当日は衆議院議員の加藤鮎子様をはじめ24名の来賓、一般参加者126名を合わせた150名の方々が参加し互いに交流をおこないました。

開会に先立ち、関屋囃子若連による新庄囃子寄せ笛を披露、主催者を代表し当所柿崎会頭よりあいさつを述べました。来賓祝辞では来賓を代表し6名の方よりご祝辞を頂戴、その後の鏡開きでは来賓全員で盛大におこなわれました。阿部副会頭による乾杯後、参加者同士で新年の挨拶や異業種による交流がおこなわれました。今回で2回目となる新年賀詞交歓会でしたが、参加者からは「一堂に会することはなかなかない」「今後もぜひ開催してほしい」との声がありました。



佐藤もがみ南部会長による開会の挨拶



高橋もがみ北部会長による開会の挨拶



主催者を代表し柿崎会頭より挨拶



3団体の会員同士交流を図った



関屋囃子若連による寄せ笛



新年を祝しての鏡開き

第183回

臨時議員総会を開催

新庄商工会議所の第183回臨時議員総会が、去る12月10日（火）、ニューグランドホテルを会場に開催されました。2024年度収支補正予算の決定について、規則・規程の一部変更についての議案が提出され、優良従業員表彰の表彰区分として新たに40年表彰を設けるなどの提案がなされました。審議が行われ、すべての議案は異議なく原案どおり承認されました。

報告事項として、商工会議所が環境負荷を低減するための取り組みのほか、地域の中小企業による脱炭素化の取り組みを支援・推進するため県内商工会議所で初となる「環境アクションプラン」を策定したこと、商工会議所が市と共同で行う、小規模事業者の事業継続力強化を支援する事業に取り組むための「事業継続力強化支援計画」認定申請を県に対して行うこと、続いて女性会布川会長、青年部柿崎会長より事業報告がありました。

した。

当日は総会の開催にあわせ、日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会から表彰を受けた方への感謝状の伝達式が行われました。表彰を受けた皆さんは次の7名の方々です。長年にわたる商工会議所事業へのご支援ご協力に感謝申し上げます。

◆日本商工会議所

30年役員・議員表彰

田中 國明 常議員

（有）日東商店

◆東北六県商工会議所連合会

10年役員・議員表彰

金田 孝司 常議員

（沼田建設）

佐藤 敏英 常議員

（有）トランスオーシャン

ツリースト）

阿部 真 議員

（有）阿部食品

柿崎 清彦 議員

（株）エッサム新庄工場

近藤 新一 議員

（近藤防災）

齋藤 伸治 議員

（有）やまよフーズ

豪雨災害に関する緊急要望を実施

「河川整備計画における計画降水量の見直し」などを求める

新庄商工会議所と酒田商工会議所が共同で近隣の商工会（もがみ北部商工会、もがみ南部商工会、酒田ふれあい商工会、遊佐町商工会）とともに、国土交通省東北地方整備局、山形河川国道事務所、新庄河川事務所、酒田河川国道事務所に対し、7月の豪雨災害からの復旧支援を求める緊急要望活動をおこないました。要望は、10月9日の新庄河川事務所を皮切りに複数日にわたって開催しております。要望項目については次のとおりです。



国土交通省東北地方整備局の西村局長に要望書を手交

① 被災地の復旧及び復興に向けた財政支援



山形河川国道事務所の森田所長に要望書を手交

- ② 河川整備計画における計画降水量の見直し
- ③ 県民の生命・財産・暮らしを守るため、防災と減災を一層推進する「国土強靱化実施中期計画」の策定及び「最上川水系流域治水プロジェクト」など県内河川における治水対策及び土砂災害対策事業の確実な実施
- ④ 被害を受けた商工業や旅館等観光関連事業者の復旧に対する支援及び大雨災害の風評により宿泊キャンセル等が生じている観光地の需要喚起等に対する支援

DMO（観光地域づくり法人）シンポジウムを開催

12月6日、「DMO（観光地域づくり法人）による持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム」を新庄市民プラザで開催しました。国土交通省道路局企画課 道路経済調査室長の廣瀬健二郎氏を講師に招き、「道を活用した地域活性化」について基調講演をしていただきました。廣瀬氏は、学生時代、研究で新庄雪氷防災研究センターに滞在経験があり、新庄に縁のある方でありました。道の駅が多様なネットワークを広げていく地方創生・観光を加速する拠点となっていることに言及。また、千葉県の「道の駅とみうら」を例に挙げ、南房総市の取り組みとして、市内8つの「道の駅」のみならず、観光協会等とも連携し、DMOを組織する取組を進めており、今後の地域活性化に向けて「道路が持つネットワークを賢く使いこなしてほしい」とのことでありました。第2部の地方創生をテーマとしたパネルディスカッションでは4名のパネリストに登壇いただきました。やまがたアルカディ



DMOを活用した地方創生について意見を交わしました

ア観光局（長井市）の驚見理事は、DMOの運営では収益財源確保と、行政、民間、既存団体の連携が鍵を握るといった話をされました。4人とも新庄最上地域の魅力について話をされ、伸びしろが非常に大きい地域であるという話をされました。

県内商工会議所初「環境アクションプラン」を策定しました

全国515の会議所のうち100の商工会議所が2025年までにプランを策定することで、地域社会における持続可能な発展を目指すことを目標としている日本商工会議所の「商工会議所環境AP100チャレンジ」を受け、東北の会議所では3番目、県内では初となる「環境アクションプラン」を策定し、12月10日の常議員会の場におい

て承認されました。

来年度より5年間に亘り、地域内の中小・小規模事業者が地球温暖化対策として省エネやGXに取り組むことを支援すると同時に、当所事務局においても具体的な環境対策を推進し、その成果を積極的に情報提供し、ノウハウの共有を行ってまいります。主な取り組み内容は左記の通りとなります。

- ① 会員企業の支援
 - ・ 環境関連制度や情報の発信
 - ・ CO2排出量の把握を支援する「CO2チェックシート」の周知と利用促進
 - ・ 省エネ診断サービスの紹介や、環境問題関連セミナーの開催など
- ② 地域・行政との連携
 - ・ 環境対策を支援するための施策の提案・要望など
- ③ 事務局内の環境対策
 - ・ 省電力化、紙資源の削減、節水などの取組み推進
 - ・ 職員への環境教育による意識向上など

なお当所ホームページにプランの全文を掲載しております。ご興味のある会員様がいらっしやいましたら、ぜひご覧いただき、お問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

2024年度老舗会員企業顕彰式・優良従業員表彰式を挙行

2024年度老舗会員企業顕彰式並びに優良従業員表彰式が、去る11月26日(火)、アークユマリエTAMAHIMEを会場に開催されました。

今年受賞された老舗企業、優良従業員の皆様をご紹介します。

【老舗会員企業顕彰】

沼田建設(株)

(創業昭和5年)



沼田建設(株) 代表取締役社長 笹 健一氏 (前段右)

昭和5年に小林貞氏が現在の栄町にて創業。藩政期に新庄藩主の居城として築かれた「沼田城」が戊辰戦争によって焼失した出来事を偲び、社名に「沼田」の字を戴き、沼田建設と社名をつける。その後昭和23年には初代社長の小林貞氏が副会長となり、業界の発展と地域貢献を目指し、最上土建親交会(現…(一社)山形県建設業協会最上支部)を発足。昭和26年には当時の取締役社長の小林貞氏、常務取締役の山科松太郎氏、取締役の永井

利見氏と大場準一氏が発起人となり、現在の「沼田建設株式会社」を設立。同年に金山出張所、昭和37年に山形市に山形出張所(現…山形支社)を開設する。業務の増大により昭和40年に社屋を新築し、さらに平成2年には現社屋へ移転。役員従業員あわせて8名から始まった沼田建設は、現在では約130名の規模となり、道路工事だけでなく校舎や公共施設の建設、文化財の補修工事に至るまで、この地域の変遷とともに歩んできた。

令和6年6月に代表取締役会長に就任した金田孝司氏は「リーマンショックによる世界同時不況や新型コロナウイルスの蔓延、働き方改革、地球温暖化による自然災害の増加など私たちを取り巻く労働環境や自然環境は常に変化している。当地域においても今年の7月25日から26日にかけて記録的な豪雨に見舞われ、激甚災害に指定された。災害発生時の緊急対応や冬期間の昼夜を問わない除雪作業など、建設業は地域の基幹産業であり、地域の守り手としてこれからは活躍していかなければならない。これからも社員一同この長い歴史と伝統を守り、さらなる発展に向け地域のリーディングカンパニーとして努

力していきたい」、また代表取締役社長に就任した笹健一氏は、「創業以来90年以上の長きにわたり当社が建設業一筋に歩んでこられたのは、地域の方々のご協力とご理解の賜物であることに感謝を申し上げます。同時に、これからも環境の変化に対応し、現状に満足することなく改善を続け、創業100年企業を目指し、地域社会に貢献できる企業であり続けることができるよう全社員一丸となつて努力し続けていきたい」と語っている。

【優良従業員表彰】(敬称略)



◎勤続30年表彰

 新庄・鈴木・柴田組 星川 昭仁	 新庄・鈴木・柴田組 笹 貴史	 有みどり印刷 黒田 恵子	 新庄信用金庫 柳谷 光範	 新庄信用金庫 皆川 健
 アヒコファインテック(株) 井上 優子	 コマツ山形新庄支店 佐藤 敦	 株丸万コンクリート 佐藤 和夫	 株丸万コンクリート 高橋 和彦	 株丸万コンクリート 高橋 周一

◎勤続20年表彰



 株マルカ 亀井 智広	 株マルカ 中島 真也	 アヒコファインテック(株) 安喰 裕一	 株柿崎工務所 黒坂 貴雄	 株カキザキ 小林 一也	 有みどり印刷 岸 容子	 有みどり印刷 梁瀬 杏奈	 アヒコファインテック(株) 山科 希
--	--	---	--	---	--	--	--

◎勤続10年表彰



 株カキザキ 奥山 久男	 株カキザキ 伊藤 常雄	 株カキザキ 大沼 清	 株カキザキ 上野 信一	 株カキザキ 高橋 靖彦	 株カキザキ 富樫 訓	 株カキザキ 中村 正義	 株カキザキ 森 利明
 アヒコファインテック(株) 加藤 春菜	 アヒコファインテック(株) 須藤 智恵美	 株柿崎工務所 柿崎 優歌	 株柿崎工務所 高橋 良和	 株柿崎工務所 松田 信	 株柿崎工務所 早坂 歩	 株柿崎工務所 中鉢 啓一	 株沼澤工務店 吉田 道人
							 株カキザキ 中島 長生

第56回全国商工会議所 女性会連合会 滋賀全国大会レポート

去る11月7日(木)、8日(金)の2日間にかけて、滋賀県大津市にて女性会連合会全国大会が開催されました。オンライン参加を含めて全国の女性会より2,530名の登録がありました。

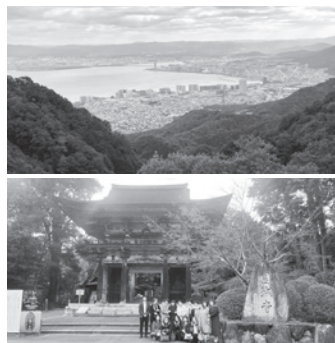
初日の懇親会はびわ湖大津プリンスホテル、琵琶湖ホテルに分かれ、全4会場で開催されました。フルオーケストラによるおもてなしの他、懇親会の締めくくりには琵琶湖にて花火が打ち上がり、盛況のうちに幕を閉じました。

2日目の全国大会は、びわ湖ホールにて大ホールと小ホールの2つに分かれて開催されました。オープニングセレモニーでは日本初の公共ホール専属音楽家集団「びわ湖ホールアンサンブル」の公演がありました。

数々の受賞者や表彰者が紹介される中、当女性会の柴田智恵美氏が特別功労賞として表彰されました。

記念講演会では能楽師の吉

浪壽晃師による演目「須磨源氏」の披露や、大本山石山寺の座主、鷲尾龍華師による「石山寺と紫式部(源氏物語)」のご講演をいただきました。2日間に渡る滋賀全国大会では、今回のテーマである「山と湖の恵みを光る貴女へ」の通り、滋賀県の自然の恵みや歴史を堪能しました。当女性会では、開催地域の理解と会員内懇親を深めるために京都と滋賀の観光もしております。写真にて皆様にも魅力が伝われば幸いです。



滋賀：「琵琶湖」「園城寺」



京都：「東寺」「スカイバス観光」

創立40周年記念事業開催 新庄商工会議所青年部

平素は当青年部の事業に対し、ご理解ご協力賜りまして誠にありがとうございます。おかげさまで新庄商工会議所青年部は今年度、創立40周年を迎え、去る11月10日新庄商工会議所青年部創立40周年記念式典並びに祝賀会を開催致しました。

新庄商工会議所青年部らしく、手作り感にあふれたおもてなしに加え、昨年度制定させていただきました、「新庄YEGサステイナブル宣言」に則り、電子化した看板や記念誌を作成、フードロス削減のために市内高校生との協力、女性副会長による式典の閉式・閉式の挨拶など、「周年事業の当たり前」を見直し、私たちのチャレンジをさせていただいた事業でした。40



柿崎会長による式辞



歴代会長感謝状贈呈

年の伝統と歴史を受け継ぎ、今できることに挑み、新しい挑戦を繋ぐことができたと思っております。

「想い」は私たちが強くします。40年続いてきた「想い」をさらに強く。そして誰かのため、何かのためと巡り巡ったその「想い」は大きな力となり、私たちや私たちのふるさとを守ります。新庄商工会議所青年部に関わってくださった皆様に重ねて感謝を申し上げます。



創立40周年を祝して鏡開き

新庄商工会議所青年部会員募集中!!

詳しくは、<https://shinjoyoueg.jimdofree.com/>
当青年部では、やる気と情熱のある会員を募集しています。(20歳から49歳まで)
この地域唯一の若手青年経済団体として地域商工業の振興、自己研鑽・異業種交流などの場としても活用できます。

●入会についてのお問い合わせは
新庄商工会議所青年部事務局
TEL22-6855
担当 齊藤までご連絡ください

上げるとともに、「承前啓後」私たちの想いは必ずや地域の明るい未来に繋がると信じ、会員一同想いを新たにそして強く前に進んで参ります。今後皆様からの厚いご支援、ご協力を賜りますよう深くお願い申し上げます。

地域ブランドを作るメンバー を募集しています！

当所では、昨年度より最上地域における地域ブランド確立を目的とした事業を実施しています。

この事業は、地域の特性や魅力を明確にし、内外に広く発信することで、地域産品や観光資源の売上の向上と付加価値の創出を図り、持続可能な地域社会の実現を目指す取り組みです。2年目となる今年度も専門家を交え、地元事業者の方々を中心としたワーキンググループを組織し、これまで3回のワークを開催しました。

現在、地域ブランドの核となるテーマの策定を進めており、当事業にご参加いただける方を募集しております。

ご興味をお持ちの方は、ぜひ当所までお気軽にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

※本事業は「働き方改革推進支援助成金事業助成金」を活用し、従業員の賃金引上げ及び新規雇用等、雇用環境の改善を目指しております。

関東商工会議所連合会 との懇談会開催

去る11月22日、関東圏内の商工会議所で構成される、商工会議所連合会との懇談会を当所にて開催しました。懇談会の前に、7月に被災した豪雨災害による被害地視察をしていただき、懇談会では豪雨災害への会議所としての対応や当所を取り組んでいる地域ブランディングについて説明。豪雨災害への対応については、被災直後の事業者へのヒアリングや広域的な商工会と連携した国や県への要望活動について、また、地域ブランディングでは、個々の商品サービスではなく、地域としてのブランディングによる付加価値とその魅力向上について説明、意見交換をおこないました。今後も当所では積極的に視察等の受け入れをおこない、地域について発信していきま



当所でおこなわれた関商連との懇談会

「しんじょうマルシェin おいしい山形プラザ」を 開催しました！

域外における販路開拓支援事業として、去る11月29（金）（12月1日（日））の3日間、東京都中央区銀座にある山形県のアナテナショップ「おいしい山形プラザ」にて、「しんじょうマルシェ」を開催しました。

今回ご参加いただいた事業者様は、(有)佐藤製館所様黒豆茶、もなか他と、産直まゆの郷様（漬物、野菜他）の2社です。

当日は大変多くの方よりご来店いただき、試食や試飲を通して、新庄の特産品のPRや販売が行えました。

今後も、販売会や商談会などに出展し、会員事業者様の販路開拓等の支援を行って参りますので、ご興味のある方は、ぜひ総務課 加藤までお問い合わせください。

※本事業は「働き方改革推進支援助成金事業助成金」を活用し、従業員の賃金引上げ及び新規雇用等、雇用環境の改善を目指しております。

岐阜県土岐市のJAEA 東濃地科学センターを見学

新庄商工会議所工業部会では9名が参加し、原子力発電環境整備機構（NUMO）による勉強会と岐阜県土岐市にある日本原子力研究開発機構（JAEA）東濃地科学センターの視察を実施しました。テーマは「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」であり、勉強会では、高レベル放射性廃棄物の最終処分の方法や、処分地選定に向けて現在進められている文献調査について説明を受けました。参加者からは、「放射性廃棄物の地層処分については、まだまだ理解している人が少ない中、勉強会において放射性廃棄物処分の現状や今後対応すべきことを理解することができ、関心を持つことができた」との感想があり、視察を通して、高レベル放射性廃棄物等に対する安全な処分方法と、深層処分に向けた種々の研究分析状況について知識を深めました。



地層研究についての説明に聞き入る参加者

新庄エネルギー懇談会 施設見学会を開催

去る12月12日（木）（13日（金））に宮城県の新庄原子力発電所と新仙台火力発電所の見学会を開催いたしました。発電所の安全性や私たちの生活に効率よく電気を供給する仕組みなど多くを学ぶことができた2日間となりました。



新庄原子力発電所 PR センターでは VR による発電所内部の見学をおこなった

また参加者の皆様からは多くの質問がなされ、見学会を通じてエネルギーについてより理解を深めることができました。



新仙台火力発電所の LNG タンクを間近に見学した

DXセミナー・相談会を開催

11月27日、新庄商工会議所にて「生成AIをビジネス活用するDXセミナー（業務改善編）」を開催しました。

本セミナーは、地域企業のDX推進を支援し、生成AI技術を活用した業務改善に結びつけることを目的としたもので、生成AIの基本的な仕組みや、ChatGPTやLINEなどを実際に活用し、AI技術がどのように応用できるかを学びました。

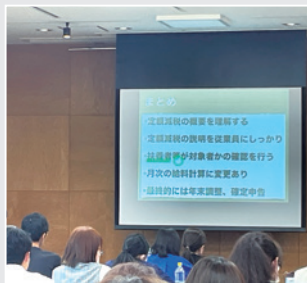
参加者からは、「生成AIの潜在能力の高さを改めて実感した」「自社の業務にどのように応用できるか、具体的なヒントを得られた」といった声が寄せられました。また、セミナー終了後には、中小機構「IT経営サポートセンター」による無料相談も実施いたしました。

生成AIを活用した業務効率化は、コスト削減にとどまらず、新たなビジネスチャンスの創出につながる可能性があります。今後も継続的にセミナー等を通じ、DX推進を支援してまいります。

税務対策セミナーを実施！

6月に開催した「所得税の定額減税確認セミナー」を拡充し、「年末調整に向けた定額減税の留意点実務確認セミナー」を去る11月19日（火）に実施しました。講師には前回に引き続き、中小企業診断士・社会保険労務士の河合正尚氏をお招きし、月次減税事務の振り返りと年末調整の定額減税事務について解説していただきました。

また、去る12月13日（金）には「インボイス制度対策セミナー」を実施しました。昨年度に引き続き、税理士法人プログレートの坂川達志氏より、インボイス制度が開始され1年が経過してあらためて気をつけるべきポイントや特例等の留意点、定額減税について解説していただきました。



定額減税・インボイスの留意点について理解を深める

Air BUSINESS TOOLS

こんなお悩みはありませんか？

- キャッシュレス決済を希望するお客様が増えた。多様なニーズに対応したい。
- 閉店後のレジ締めでスタッフのシフト作成、事務作業がたいてきあって大変。
- たくさん来店してくれるのは嬉しい...でも、今やりたい業務が追いつかない。

Air ビジネスツールズで解決

会計、決済、予約・受付管理などアナログな業務にかかる、手間、時間、コストを軽減できます。業務効率化で、思い描く事業運営をしてみませんか？

Air BUSINESS TOOLS

複数のサービスを連携・組み合わせることで日常の業務を飛躍的に効率化できます。

カード / 電子マネー決済 さまざまな支払いに対応	注文管理 提供漏れを防止	会計 POS レジ締めもカンタン操作
予約管理 ネットから予約が可能	受付管理 お客様自身で来店受付	シフト管理 シフト作成・管理をひとまとめに

ツールを活用し、IT導入により経営課題を解決しましょう！



IT 経営サポートセンター

ITの専門家によるオンライン相談で、IT化のお悩みを解決！



IT 戦略ナビ

5分で見える化！IT戦略ナビがIT活用法をナビゲート！



ここからアプリ

アプリの選択や導入事例も充実！IT導入はここから始めよう！



ebiz

中小企業の販路開拓 / EC市場への参入・運営なら！



IT 導入補助金

IT導入のための強い味方！IT導入補助金を活用しよう！



訃報

当所常議員 マルミツ産業(株)荒川純一氏が1月2日にご逝去なされました。公私ともに長きにわたり地域発展のために尽力されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

新庄商工会議所

新庄商工会議所のご案内

経営サポート

福利厚生

検定・セミナー

各種サービス



<https://sjcci.or.jp>

ホームページをリニューアルしました。

デザインを一新し、より見やすく、直感的に操作できるレイアウトに変更しました。

また目的に合わせた情報を整理し、新しくコンテンツを追加しました。

さらにスマートフォンやタブレットからの閲覧にも対応し、いつでもどこでも快適にご利用いただくことが出来ます。

新しいホームページでは、これまで以上に、迅速な情報のご提供と、当所の活動を身近に感じていただける内容をお届けしてまいります。

ぜひ一度ご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。